

九十九里町過疎地域持続的発展計画(案)に係る意見募集結果について

町民等の皆さまに対して、九十九里町過疎地域持続的発展計画(案)に対する意見募集を行ったところ、2通のご意見をいただきました。

いただいたご意見の概要とそれらに対する九十九里町の考え方を次のとおり取りまとめましたのでご報告します。

○意見募集の期間:令和8年1月26日から2月9日

いただいたご意見	九十九里町の考え方
<p>・海や海の幸を最大限に活かすこと</p> <p>・サーフィンの町、サーファーを育てる町として今後空く学校などの施設をうまく再利用する</p> <p>・はまぐりなどを使った名物料理をつくる</p> <p>・有名なラーメン店とのコラボ、地域活性化も空き家再生のプロを交えて実施すべきです。</p>	<p>＜参考とさせていただきます＞</p> <p>ご意見のとおり、九十九里町は、海の幸やサーフィンなど、海を最大限に活かし、PRしていくことが必要であると考えます。今後は、特産品を活かした加工品・商品開発によるブランド化や、地域資源を生かした体験型観光の開発などを検討し、SNS等を用いて効果的にPRをしていくよう努めてまいります。</p>
<p>・町内にドッグランが併設された民泊施設が増加しており、他県からの宿泊者・旅行者が増加している中、朝食の時間に営業している飲食店が少ないという声が多くあり、コンビニ弁当で済ますという方が多いという現状がある。特に、サーフィンをする方や犬連れの方は、朝早くから活動することが多く、早朝から飲食店を開店することはとても需要があると実感している。</p> <p>このような現状から、九十九里町には「朝ごはんが食べられるお店」が必要であると痛感している。</p> <p>しかし、九十九里町の飲食店は、以下のような現状があり、需要がある時間帯を逃しているように感じる。</p> <p>○オープン時間が遅い(11:00～など)</p> <p>○午後休憩で数時間閉店する(14:00～17:00は閉店しているなど)</p> <p>○夜の閉店が早い(18:00、19:00閉店など)</p> <p>このような現状を変えるための一例として、朝から営業してくれる飲食店を、補助金等で支援し、賛同店を集って“町内朝ごはんマップ”を製作し、観光案内等で広めるなどはどうか。</p>	<p>＜参考とさせていただきます＞</p> <p>ご意見のとおり、九十九里町内には、ペットと泊まれる宿泊施設等が増加しており、宿泊客も数多く来遊しておりますが、需要のある時間帯に開店している飲食店が少ないという現状があるため、いただいたご意見を参考に、来遊客の需要を逃さないよう、町内事業者への支援を検討し展開してまいります。</p> <p>また、ご意見のとおり、高齢化が著しく、飲食店に限らず、農業者・漁業者などにおいても、担い手不足となっており、空き店舗が増えている現状があるため、担い手不足解消への支援や事業承継の支援を検討し、地域経済の安定化に努めてまいります。</p>

・高齢化で閉店してしまったお店の現状調査や、何が理由で閉店してしまったのか、これが大丈夫なら経営できたのに…など実際に閉店してしまった経営者から声を聞くことや、もし居抜きで店舗を運営してくれる人がいれば色々教えるから任せたいなど、空き家事業と共に「貸したい」「使いたい」と思っている方々を繋ぐ空き店舗事業にも力を入れたら良いと思う。